

(別紙)

障害福祉分野のロボット等導入支援事業(令和4年度第二次補正予算分)
(施設等に対する導入支援分) 事業報告書

自治体名 愛知県

【基本情報】

フリガナ	トクテイエイリカツドウホウジンティーラ
法人名	特定非営利活動法人ていーら
フリガナ	ヘルパーズギョウシヨティーラ
事業所名	ヘルパー事業所ていーら
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
居宅介護	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」÷「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
5.2 人	

(1)主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: ☒ 移乗介護 ☐ 排泄支援 ☐ 入浴支援
☐ 移動支援 ☐ 見守り・コミュニケーション

(2)ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D÷A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	11 人	92 件	1,104 件	45 分	9,108 人時間	75 時間
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護	11 人	40 件	480 件	30 分	2,640 人時間	22 時間
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			132 件	1,584 件	75 分	11,748 人時間	#DIV/0!

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援
※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等
※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

ロボット対象利用者	移乗・体位変換	8人×1週間当たり2回×4週＝64件
		7人×1週間当たり1回×4週＝28件
	その他直接介護	1人×1週あたり4回×4週＝16件
		3人×1週当たり2回×4週＝24件

<※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

移乗・体位変換について	60分の支援のうちマッスルスーツを着用して支援をした時間45分
その他直接介助	60分の支援のうちマッスルスーツを着用して支援をした時間30分

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D÷A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	11 人	92 件	1,104 件	45 分	9,108 人時間	75 時間
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護	11 人	40 件	480 件	30 分	2,640 人時間	22 時間
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			132 件	1,584 件	75 分	11,748 人時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

ロボット対象利用者	移乗・体位変換	8人×1週間当たり2回×4週＝64件
		7人×1週間当たり1回×4週＝28件
	その他直接介護	1人×1週あたり4回×4週＝16件
		3人×1週当たり2回×4週＝24件

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

移乗・体位変換について	60分の支援のうちマッスルスーツを着用して支援をした時間45分
その他直接介助	60分の支援のうちマッスルスーツを着用して支援をした時間30分

年間業務時間数想定削減率(%)

0.0%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

(4)ロボット機器等の導入により得られた気づきや今後の課題等について必ず記載すること。

マッスルスーツを着用することで、介護時間の短縮はなかったが、従事者一人一人の身体的負担が軽減された。特に、中腰での作業は腰痛発生の大きな要因になっていたので、従事者からはかなり好評である。課題については、マッスルスーツの重量がかなりあり、利用者のご自宅に持っていくときに負担になることがある。また、慣れるまでマッスルスーツを着用するのに時間がかかることがあり、軽量化や簡素化が進めばさらに導入しやすくなる可能性がある。

(5)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の縮減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の縮減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下を回答すること。

縮減額(円)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。